

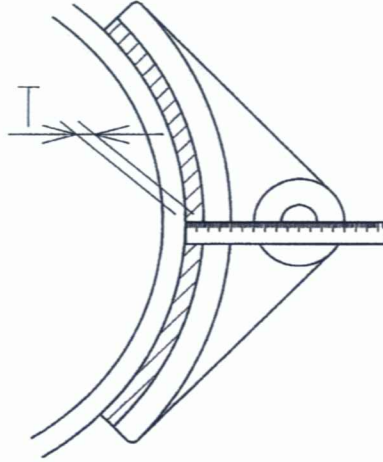
ブレーキパッド残存厚み判定基準寸法と測定方法

【ドラムブレーキ型】

巻上機型式 (守谷)	初期寸法(T)	要重点点検寸法(T1)		要是正寸法(T2)
		AC2(またはAC1) (要是正×1.2)	VVVF/掃選制御 (要是正×1.1)	
TM-6	6.0	4.8	4.4	4.0
TM-5	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-23	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-26	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-28	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-32	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-36	6.0または8.0	4.8	4.4	4.0
KTM-39	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-45	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-55	8.0	6.0	5.5	5.0
KTM-75	8.0	6.0	5.5	5.0
KTM-85	8.0または6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-130	8.0	6.0	5.5	5.0
KTM-165	9または10または8	6.0	5.5	5.0
KTM-190	9または10または8	6.0	5.5	5.0
E-200	6.0	4.8	4.4	4.0
E-300	6.0	4.8	4.4	4.0
E-500	6.0	4.8	4.4	4.0
E-1000	6.0	4.8	4.4	4.0
E-1500	6.0	4.8	4.4	4.0
E-2000	6.0	4.8	4.4	4.0
E-2500	10.0	7.2	6.6	6.0
KTM-30F	8.0または6.0	-----	4.4	4.0
KTM-32F	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-35F	8.0	-----	5.5	5.0
KTM-38F	8.0または6.0	-----	4.4	4.0
KTM-42F	6.0	4.8	4.4	4.0
KTM-45F	10.0	-----	6.6	6.0
KTM-50FB	6.0	-----	4.4	4.0
KTM-60F	10.0	-----	6.6	6.0
KTM-60FB	6.0	-----	4.4	4.0
HS180K	10.0	-----	6.6	6.0
HS250K	10.0	-----	6.6	6.0
HS375K	10.0	-----	6.6	6.0
HS375G	10.0	-----	6.6	6.0
RA23	8.0	-----	6.6	6.0
RA24	8.0	-----	6.6	6.0
RA021	8.0	-----	6.6	6.0
RA031	10.0	-----	8.8	8.0
RA061	10.0	-----	8.8	8.0
BW163	8.0	-----	6.6	6.0
BW275	8.0	-----	6.6	6.0
BW320F	8.0	-----	6.6	6.0
BW395L	10.0	-----	8.8	8.0
TML-N1AorB	8.0	-----	6.6	6.0
TML-N2AorB	8.0	-----	6.6	6.0
SEKD-500	8.0	7.2	6.6	6.0

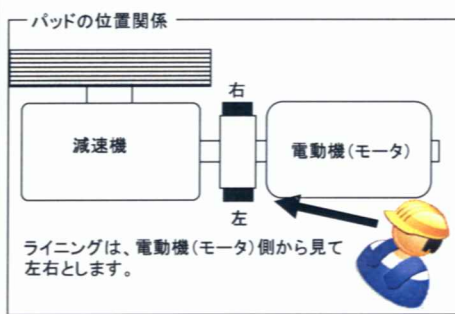
【測定方法】

下图のように鋼尺にてライニングの厚み「T」を測定してください。



【検査結果表への記載方法】  
現場にて巻上機銘板より型式を読み、該当する「T1」「T2」寸法を記載する。

ブレーキ	パットの残存厚み ① 製造者が検査方法を指定しているもので、製造者設計基準値と比較して判定するもの (要重点点検となる基準値: T1 mm) (要是正となる基準値: T2 mm) ② 製造者が検査方法を指定しているもので、①に該当しないもの (要重点点検となる基準: ) (要是正となる基準: )	右 実測値 = 左 実測値 =
------	--	--------------------



写真サンプル

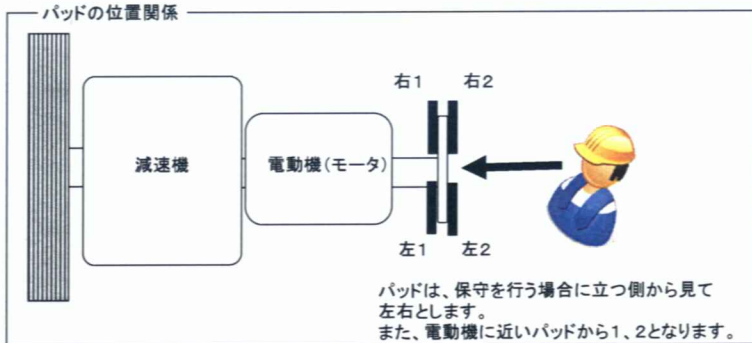
ライニングの写真は、左右のうち最も摩耗したライニングを撮影してください。鋼尺等をいっしょに入れてください。別添様式1へ貼り付けて下さい。



ブレーキパット残存厚み判定基準寸法と測定方法

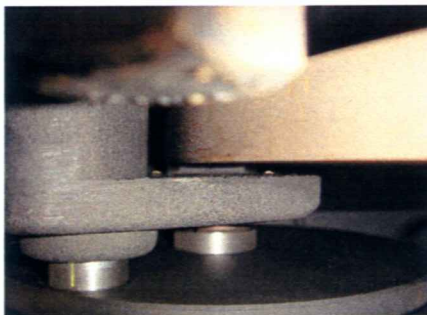
【ディスクブレーキ1】

巻上機型式 (守谷)	初期寸法(W)	要重点点検寸法(W1)		要正寸法(W2)
		AC2(またはAC1) (要正×1.2)	VVVF/掃速制御 (要正×1.1)	
TML-O1	3.0	-----	2.2	2.0
TML-O2	3.0	-----	2.2	2.0
TML-O3	3.0	-----	2.2	2.0
TML-O4	3.0	-----	2.2	2.0



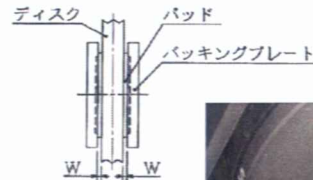
写真サンプル

パッドの写真は、4つのパッドのうち最も摩耗したパッドを撮影してください。鋼尺等をいっしょに入れてください。別添様式1へ貼り付けて下さい。

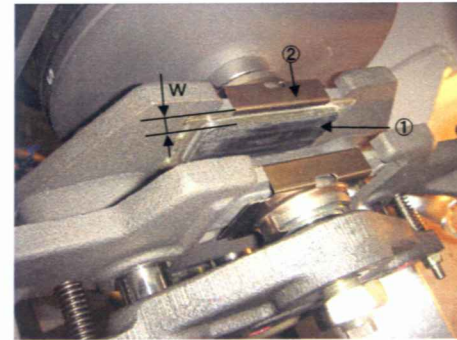


【測定方法】

下図のように鋼尺や隙間ゲージにてパッドの厚み「W」を測定してください。



- ①パッド
- ②バッキングプレート



※この写真は説明便宜上、ブレーキ部を分解した写真です。実際の検査で、ブレーキ部は分解しないでください。

【検査結果表への記載方法】

現場にて巻上機銘板より型式を読み、該当する「W1」「W2」寸法を記載する。

